

Press Release
報道関係者各位

2024年9月12日
日本公認会計士協会

第45回日本公認会計士協会研究大会開催について

日本公認会計士協会は、2024年9月12日に第45回研究大会を名古屋マリオットアソシアホテル（愛知県名古屋市）において開催いたしました。

この研究大会は、公認会計士、外部有識者、実務家等の研究成果等を全国から参集した公認会計士の前で発表し、社会との交流を深め、知識の吸収や資質の向上そして社会的発言の場とすることを目的として、1979年から開催しているもので、研究大会が愛知県にて開催されるのは2008年の第29回大会以来となります。

45回目となる今回は、破壊、創造、継承の3つのプロセスを継続し環境の変化に適応し続けることがVUCAの時代に生きる公認会計士に必要であると考え、メインテーマを「破壊、創造、継承。前例踏襲を打ち破れ。～VUCAの時代に公認会計士が取り組むべき課題～」として10テーマの研究発表を行い、約850名が参加しました。

また、研究発表に先立ち、開催地に関わりの深い外部講師を招いての記念講演も開催しており、今回は徳川宗家第19代の徳川家広氏から「財政破綻で何が起こるか ～破壊を制御し創造的に継承する～」をテーマにご講演いただきました。



開会式で挨拶する茂木哲也協会会長



徳川氏による記念講演会の模様

以上